

メインオークション関連のスケジュール状況の報告 (登録、応札等)

2021年4月27日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

1. はじめに
2. 2021年度メインオークションのスケジュールの概要について
3. 2021年度メインオークションに向けた参加登録・応札について
4. 事業者向け説明資料や制度周知について
5. 実需給期間に向けたシステム開発の状況報告

- 本検討会において、2021年度メインオークション（対象実需給年度：2025年度）の募集要綱案と約款案、及びメインオークションの需要曲線の原案を示したところ。
- 募集要綱案と約款案については、この後、パブリックコメントの実施を予定している。
- 今後、2021年度メインオークションに向けて、各種業務マニュアルや説明等の準備を進め、参加登録や電源登録等の応札に向けた実務的な事業者向けの説明を行っていく。
- あわせて、容量市場システムの開発についても、これまでの2021年度メインオークションに向けた見直し検討内容も踏まえつつ、2021年5月に入札公告の実施を進めていくことを予定している。
- 本日は、応札も含め、現時点のスケジュール概要についてご説明する。

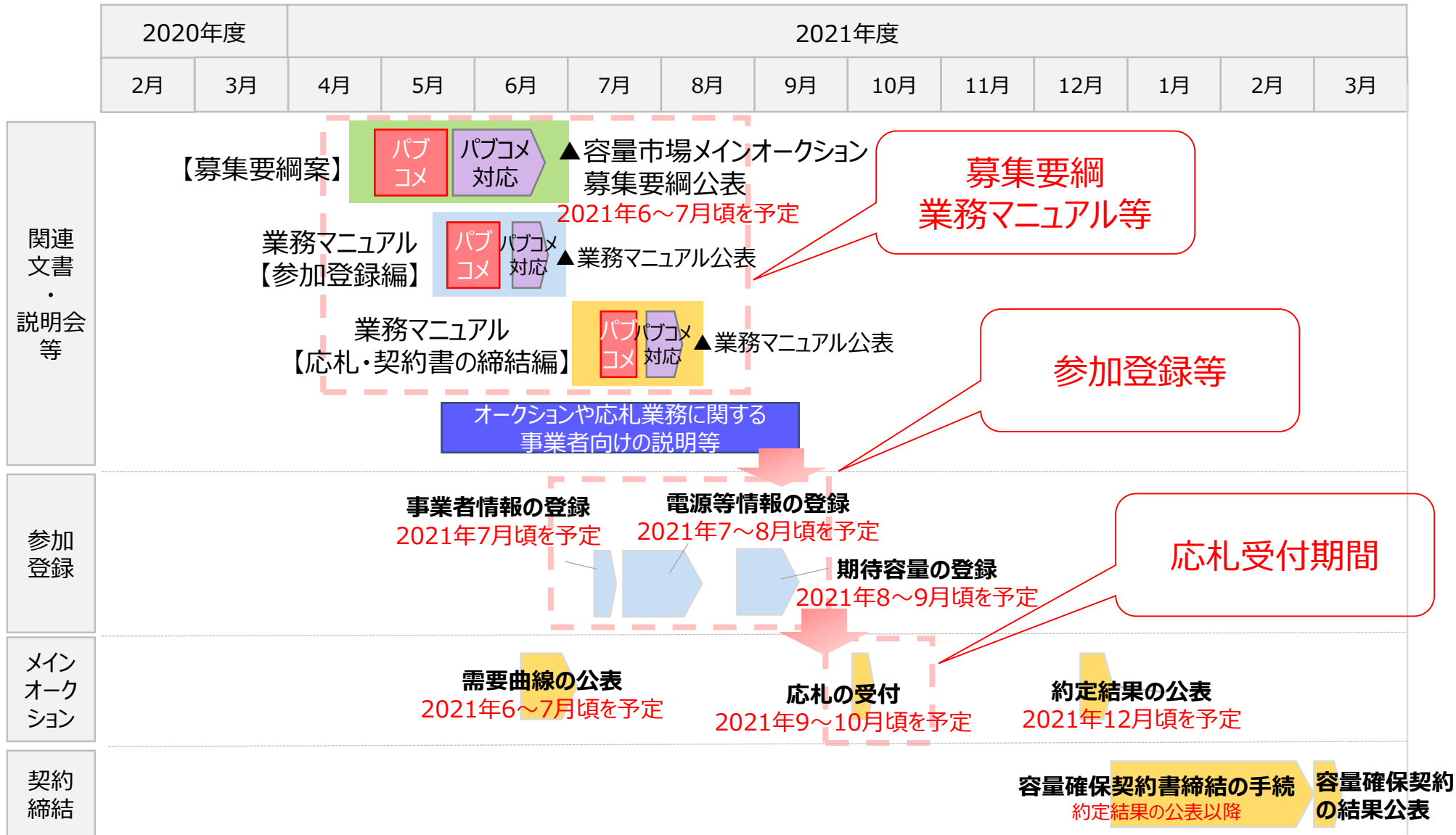
- 2021年度メインオークションに向けて、今後のスケジュールについては、以下を想定している。

- ➡ (本日) : 本検討会での募集要綱案、需要曲線案の提示
- 4～5月 : 募集要綱案に関するパブリックコメント実施
- 5～9月 : **オークションや応札業務に関する事業者向けの説明等**
- 5～6月 : 業務マニュアル（参加登録編）に関するパブリックコメント実施
- 7月 : 業務マニュアル（参加登録編）の公表
- 6～7月(想定) : **募集要綱の確定・公表**、需要曲線の公表
- 7月 : 業務マニュアル（応札・契約書の締結編）に関するパブリックコメント実施
- 8月 : 業務マニュアル（応札・契約書の締結編）の公表
- 7～9月 : **参加登録（事業者情報、電源等情報、期待容量）や応札準備**
- 9～10月(想定) : **応札期間**
- 12月(想定) : 約定結果の公表

- それぞれ詳細な日程については、あらためて確定しだいでご案内していく。

2. 2021年度メインオークションのスケジュールの概要について

■ 2021年度メインオークションの応札に向けた、参加登録等のスケジュール概要は以下となります。



3. 2021年度メインオークションに向けた参加登録・応札について

- 今回は2回目のメインオークションとなるため、参加登録（事業者情報、電源等情報、期待容量）や応札の登録について、下記のような留意についても事業者へ周知を行っていく。

【周知例】

<事業者情報>

- **2020年度メインオークションに参加登録された事業者は、新たに事業者情報を登録する必要はありません。**登録済の事業者情報について内容確認の上、**必要に応じて修正**してください。

<電源等情報>

- **2020年度メインオークションに参加登録された電源等情報は、本機関により、当該内容を2025年度向けの電源等情報として容量市場システムに登録します。**登録済の電源等情報について内容確認の上、**必要に応じて修正**してください。
- **ただし、『取次により登録されている電源等情報』、および『電源区分が「安定電源」で、かつ主燃料が「石炭」の電源等情報』については登録されませんので、新たに登録が必要**となります。

<期待容量>

- **全電源で登録が必要**になります。（2020年度メインオークションに期待容量を登録した場合でも、**2025年度向けの期待容量は新たに登録が必要**となります。）

<応札>

- **全電源で登録が必要**になります。（2020年度メインオークションに応札容量を登録した場合でも、**2025年度向けの応札容量は新たに登録が必要**となります。）

- 応札業務に関する事業者向けの説明等は、今後、広域機関HPや容量市場WEBサイト（容量市場かいせつスペシャルサイト）、SNSを通じて発信していく。
- 今回は2回目のメインオークションであることから、昨年のメインオークションに参加した方に向けて、何が変更点であるか等のポイントも補足していく。
- また、今年度初めて参加する事業者や、現在参加を検討している事業者を対象とした説明資料等、様々な事業者の状況に応じた資料の準備や説明等も検討する。
- 制度周知については、容量市場WEBサイト（容量市場かいせつスペシャルサイト）において、引き続き情報発信を行っていく。

4. 事業者向け説明資料や制度周知について (情報発信の状況)

- 容量市場の情報発信について、WEBサイトでの解説や資料提供、説明等を組合せながら行ってきた。
- 次回オークションに向けた情報の発信、及び制度内容の発信をさらに進めていく。

容量市場かいせつスペシャルサイト



合計約2000名の参加

説明会開催実績 (2020年度)

- ・容量市場概要説明会 14回開催、約900名の参加
- ・制度詳細説明会 9回開催、約700名の参加
- ・実務者向け説明会 9回開催、約400名の参加

Facebook, Twitter による発信



Youtubeによる説明動画の配信

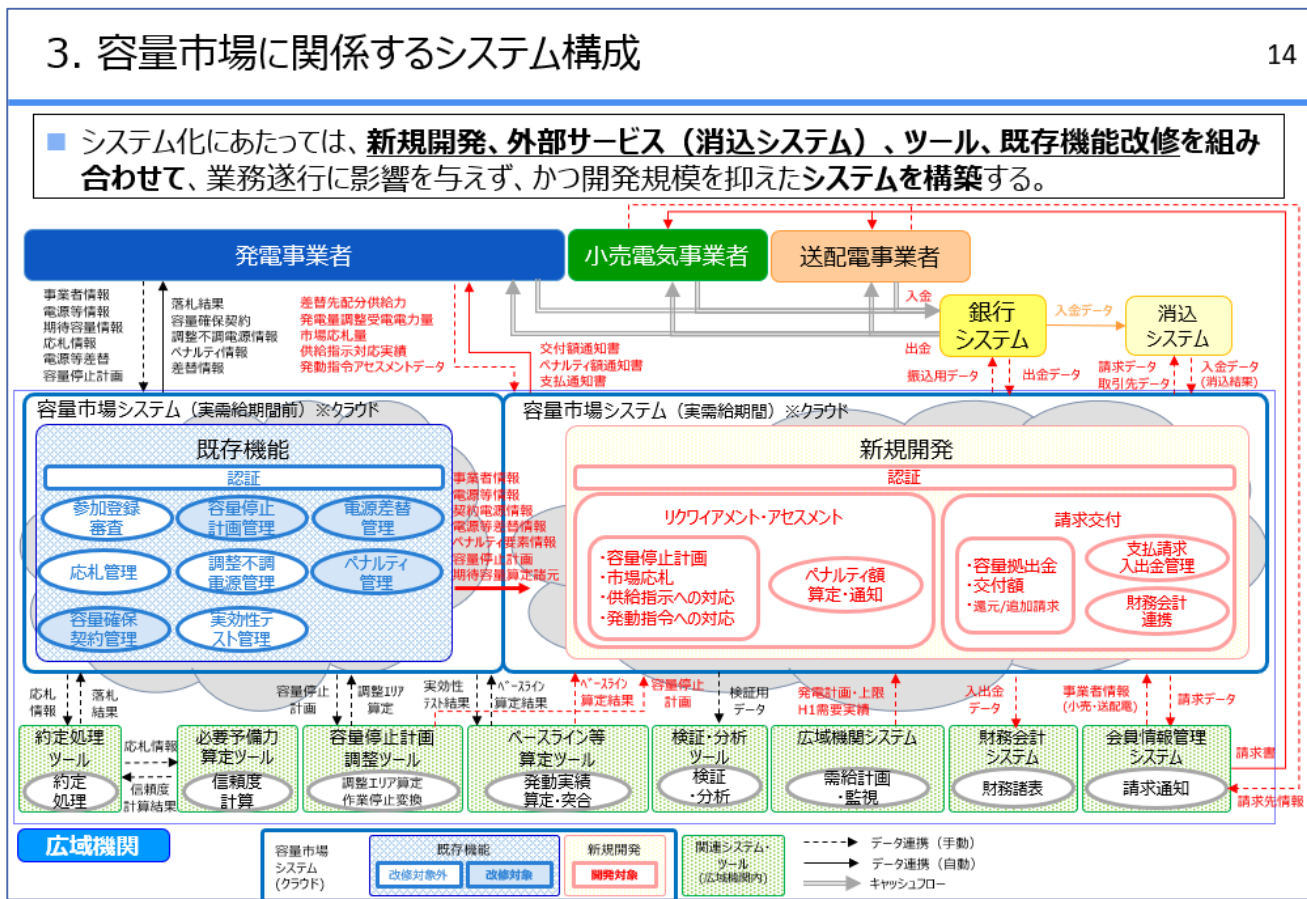


合計約4000回再生

今後も、広域機関では各種方法を用いて情報を随時発信してまいりますので、是非ご利用ください。

5. 実需給期間に向けたシステム開発の状況報告

- 実需給期間に向けたシステム開発については、前回の検討会でもご報告しているとおり、システム開発に関する入札公告に向けた準備等を進めている。
- 2021年度メインオークションに向けた見直し検討の内容を踏まえつつ、2021年5月に入札公告の実施を予定しており、引き続き準備を進めていく。



第30回容量市場の在り方等に関する検討会資料より